

## 木村俊介 Concert

# 笛に舞う花、浮かぶ面影 今、奏でたい音～古今東西の名曲とともに

朝の来ない夜は無い。春の来ない冬は無い。

そう自分に言い聞かせて耐え忍ぶ時期もありますが、  
夜には夜の、冬には冬の良さがあったと後から気づくこともしばしば。

今だからこそ感じられる、「当たり前」の愛おしさ、尊さ、美しさを、

生田さち子さんの彩り鮮やかなピアノと

久ちゃんの心踊るチンドンに乗せてお届けできたらと思います。

"今"だけの、通常の半分の客席で、ゆったりとお楽しみ頂ければ幸いです。



### 笛・三味線 木村俊介

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。

自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。

また、日本各地の民俗芸能の旋法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸30カ国以上の音楽祭に招聘出演している。

《木村俊介 website》<http://insho.kmlw.net>

- 15年 ◆演劇倶楽部「座」公演『ひやめし物語・ちゃん』(壺晴彦演出)にて音楽を担当。  
◆坂東玉三郎演出・出演、鼓童『アマテラス』(大阪松竹座)に楽曲・詞を提供。
- 16年 ◆鼓童・小島千絵子氏をゲストに自主公演『音のいろ・舞のうた』開催。
- 17年 ◆ロシア『少数民族伝統芸能祭』に出演。
- 18年 ◆多彩なゲストを迎え、音楽活動30周年記念コンサート『きせき』(さいたま芸術劇場・音楽ホール)を開催。CD『きせき』リリース。  
◆慶州『万波息笛 世界“笛”フェスティバル2018』(韓国)出演。
- 19年 ◆カヤグムの朴順雅氏をゲストに自主公演『半夏の夢のひらく頃』開催。  
◆JAPAN HOUSE LONDON(イギリス)にて、ピアニストKit Downes氏とDUOコンサート開催。

### —ゲスト— ピアノ 生田さち子



大阪生まれ。4歳よりエレキトーン、10歳からはピアノを始める。更にドラムを御葉袋一男氏に師事する。ヤマハ主催のJOC(ジュニア・オリジナル・コンサート)に15歳まで毎年出演し、合歓の郷にて世界各国の子供達と共演し、1981,82年のアンサンブル大会では2年連続グランプリを受賞。大学時代にジャズに目覚め、高橋俊男氏に師事し京阪神を中心にコンサート・ライブ活動を展開。

1986年10月:日本武道館に於ける第17回世界歌謡祭にパーカッションリストとしてゲスト出演。

近年における活動は目覚しく、エディー・ヘンダーソン、オテロ・モリノ、日野皓正、土岐英史、峰厚介、川嶋哲郎、多田誠司、TOKU、大坂昌彦、原大次、江藤良人、井上陽介から世界及び日本を代表するジャズ・ミュージシャンと数多くのセッションを重ねる。

2002年10月:初リーダーアルバム『My Language』をリリース。  
2008年7月:「第1回なにわジャズ大賞」、「第45回なにわ芸術祭ジャズ部門新人賞」受賞。

2012年7月:2ndアルバム『春の風』をリリース。  
現在はジャズに留まらず、持ち前の好奇心を生かしラテン、フュージョン、シャンソン、現代音楽等 幅広いジャンルにおいて非常に高い評価を得る。

《生田さち子ブログ》<https://ameblo.jp/sachiko3ikuta>

本公演は、自治体等の感染防止ガイドラインに則って開催されます。受付での消毒・検温、会場内でのマスク着用などのご協力をお願い致します。

※当日、体調が優れない方は来場をご遠慮ください。  
キャンセル料は発生しません。

※感染拡大状況によっては定員を変更したり、公演を中止する場合があります。予めご了承ください。

### <ご予約・お問合せ>

渡辺 / 090-2944-8576

大熊 / 090-4728-2742

※入場は140名様限定とさせていただきます。

※当日券はございません。

### —特別出演— チンドン太鼓 久ちゃん



各地で大好評のチンドン屋宣伝のほか、「チンドン屋漫談」で寄席に出演中!

平成 6年、東京墨田区・小鶴家入門  
平成19年、妻の美香と共に「チンドン芸能社」創立  
平成22年、第3回関東ちんどん選手権大会in青梅宿  
最優秀賞

平成24年、第46全国選抜チンドンコンクール準優勝  
平成26年、第48回全国選抜チンドンコンクール3位入賞

\*「チンドン芸能社」(台東区根岸)代表  
\*東京演芸協会会員  
\*日本舞踊小町流・小町永寿郎

[主催] 木村俊介Concert実行委員会

[協賛団体] ウェルカムきもの会

お楽しみ芸能集団「らくのう座」

アップルパイの店「ベルジュ」

いつ和(旧 和ごころ りんず)

すずめ合唱団

[構成・演出] 木村俊介

[音響] 金曾武彦

[チラシデザイン] maiko